

MAS	発動機	潜水艦
四百四十七号、第四百四十八号、第四百四十九号、第四百五十号、第四百五十一号、第四百五十二号、第四百五十三号、第四百五十四号、第四百五十五号、第四百五十六号、第四百五十七号、第四百五十八号、第四百五十九号、第四百六十号、第四百六十一号、第四百六十二号、第四百六十三号、第四百六十四号、第四百六十五号、第四百六十六号、第四百六十七号、第四百六十八号、第四百六十九号、第四百七十号、第四百七十一号、第四百七十二号、第四百七十三号、第四百七十四号、第四百七十五号、第四百七十六号、第四百七十七号、第四百七十八号、第四百七十九号、第四百八十号、第四百八十一号、第四百八十二号、第四百八十三号、第四百八十四号、第四百八十五号、第四百八十六号、第四百八十七号、第四百八十八号、第四百八十九号、第四百九十号、第四百九十一号、第四百九十二号、第四百九十三号、第四百九十四号、第四百九十五号、第四百九十六号、第四百九十七号、第四百九十八号、第四百九十九号、第五百号	小型戦闘用艦船 式水雷艇I MS 三十五号、第六十一号、第六十五号、第七十二号、第七十四号、第七十五号、第七十六号、第七十七号、第七十八号、第七十九号、第八十号、第八十一号、第八十二号、第八十三号、第八十四号、第八十五号、第八十六号、第八十七号、第八十八号、第八十九号、第九十号、第九十一号、第九十二号、第九十三号、第九十四号、第九十五号、第九十六号、第九十七号、第九十八号、第九十九号、第一百号	インドミット I アラロジト アトウロロ ダンドロ ジアド マレア ニケリオ ブラテイ ヴォルテ 小型戦闘用艦船 式水雷艇I MS

... (Faint, mostly illegible text, possibly bleed-through from the reverse side of the page) ...

運送船	練習船	母船	良船	劣船
！	！	ア	三	ウ
シ	シ	ン	五	（小）
ム	ム	テ	五	）
モ	モ	オ	五	コ
ツ	ツ	ス	三	カ
ベ	ベ	ト	六	シ
・	・	フ	六	エ
メ	メ	オ	五	二
ウ	ウ	コ	三	ラ
シ	シ	ロ	七	三
ナ	ナ	ン	八	七
！	！	ボ	八	三
モン	モン	テ	〇	二
テ	テ	ク	三	三
ク	ク	ツ	五	九
ツ	ツ	コ	四	二
ム	ム	レ	四	四
バ	バ	リ	四	カ
ニ	ニ	カ	二	タ
ガ	ガ	ノ	八	ノ
リ	リ	リ	五	リ
ア	ア	！	馬	！

(The text on this page is extremely faint and illegible. It appears to be a continuation of a list or table from the previous page, possibly containing ship names or technical specifications.)

第十三附屬書

海軍用語

(第五十九條參照)

水上艦艇の基準排水量とは、乗員が充實され、機関がすえ附けられ且つ航海準備(一切の武器及び弾薬、副備品、機裝品、乗員用の糧食及び清水、戦時において搭載される各種の需品及び器具を含む)が完成し、ただ燃料又は予備鑄水を搭載しない工事の完成した艦艇の排水量をいふ。基準排水量は、二千二百四十ポンド(千十六キログラム)のトシで表わされる。

戦艦用艦船とは、右艦艇の排水量のいかなを問はず、左のもをいふ。海軍、水陸兩様の若しくは海軍の空中戦闘のための戦闘單位として特に、建造され若しくは改造された艦船 又は、

二 左の特性の一を有する艦船

(イ) 口径三インチ(百二十ミリメートル)を超え、砲を搭

載している。口径三インチ(七十六ミリメートル)を超え、砲四門を超え搭載している。

(イ) 魚雷を發射し、又は機雷を敷設するよう設計され、又は
 (ロ) 自動推進式又は誘導式投射物を發射するよう設計され又は
 (ハ) 厚さ一インチ(二十五ミリメートル)を超える装甲鋼板
 (ニ) によつて防護されるよう設計されていり。
 (ホ) 海上に於ける航空機の操作を主たる目的として設計され又
 (ヘ) は改造されていり。
 (ニ) 航空機発射装置二基を超え搭載していり。
 (ハ) 口径三インチ(七十六ミリメートル)を超える砲が装置
 された場合。二十ノットを超える速力を得るよう設計
 された場合。

第一級に属する戦艦は、一切の兵器が撤去される場合に
 工から二十年の後は、もはや第一級に属するものとみな
 されな。

戦艦とは航空母艦以外の戦艦用艦船で基準排水量が一万トンを超えるか、又は口径が八インチ一二百三ミリメートルを超える砲を塔載するものをいう。

航空母艦とは、その排水量のいかんを問わず、航空機を塔載し及びこれを発進させることを主たる目的として設計され又は改造された戦艦用艦船をいう。

潜水艦とは、海面下で行動するよう設計された艦船をいう。特殊型式の強襲用艦艇。

一 水陸両様の行動のために、特に設計され又は改造された一切の種類の艦艇。

二 船舶又は港を攻撃するため、爆弾又は焼夷弾を塔載するよう設計され又は改造された一切の種類の小艦艇。

の二十五ノットを超える速力を出し、且つ魚雷を操作すること

戦艦とは航空母艦以外の戦艦用艦船で基準排水量が一万トンを超えるか、又は口径が八インチ一二百三ミリメートルを超える砲を塔載するものをいう。

航空母艦とは、その排水量のいかんを問わず、航空機を塔載し及びこれを発進させることを主たる目的として設計され又は改造された戦艦用艦船をいう。

潜水艦とは、海面下で行動するよう設計された艦船をいう。特殊型式の強襲用艦艇。

一 水陸両様の行動のために、特に設計され又は改造された一切の種類の艦艇。

二 船舶又は港を攻撃するため、爆弾又は焼夷弾を塔載するよう設計され又は改造された一切の種類の小艦艇。

の二十五ノットを超える速力を出し、且つ魚雷を操作すること

る

陸軍、陸軍航空及び海軍の訓練（第六十條、第六十三條及び第六十五條参照）

一 陸軍訓練とは、陸軍の用に供するため特に設計され、又は改造された軍用資材及びこれに関する訓練用装置の研究及び用法の実習、戦闘において戦闘軍隊によつて行われる展開運動を教え、又は実習する一切の教練及び演習の研究及び実施並びに戦術、戦略及び参謀事務の組織的研究をいう。

二 陸軍航空訓練とは、空軍の用に供するため特に設計され又は改造された軍用資材及びこれに関する訓練用装置の研究及び用法の実習、空軍の使命を成就するため航空機によつて行われる編隊飛行を含む一切の特種展開運動の研究及び実習並びに空軍の戦術、戦略及び参謀事務の組織的研究をいう。

三 海軍訓練とは、軍艦又は海軍用施設の研究、管理又は用法の実習並びに平常軍艦以外の用にも使用されるものを除き、これに関する一切の機械及びこれに関する訓練用装置で海軍の戦闘の遂行に使用されるもの

の研究又は使用と船舶の平和的使用には必要でない一切の行動及び演習の実行を含む海軍の戦術、戦略及び参謀事務の教授、実習又は組織的研究をいう。

は

- 軍用資材の定義及び表
- 一 第六十七條参照
 - この條約に使用されている「軍用資材」という語は、戦争に使
 - 切るため、特に設計される又は改造された左に列挙されている
 - 一の武器、弾薬及び器材を含む。
 - 一 同盟及び連合國は、今後の科學的發達に鑑みて、變更又は追
 - 加の上つて表を定期的に修正する権利を留保する。
 - 第一種目
 - 一 銃、銃身、銃機、銃匣、銃蓋、銃床、銃脚、銃架、銃座、銃輪、銃轆、銃
 - 二 銃、銃機、銃匣、銃蓋、銃床、銃脚、銃架、銃座、銃輪、銃轆、銃
 - 三 銃、銃機、銃匣、銃蓋、銃床、銃脚、銃架、銃座、銃輪、銃轆、銃
 - 四 銃、銃機、銃匣、銃蓋、銃床、銃脚、銃架、銃座、銃輪、銃轆、銃
 - 五 銃、銃機、銃匣、銃蓋、銃床、銃脚、銃架、銃座、銃輪、銃轆、銃
- られる自動推進式及び誘導式投射物、投射物、ロケット、充

軍用資材の定義及び表

この條約に使用されている「軍用資材」という語は、戦争に使

切るため、特に設計される又は改造された左に列挙されている

一の武器、弾薬及び器材を含む。

一 同盟及び連合國は、今後の科學的發達に鑑みて、變更又は追

加の上つて表を定期的に修正する権利を留保する。

第一種目

一 銃、銃身、銃機、銃匣、銃蓋、銃床、銃脚、銃架、銃座、銃輪、銃轆、銃

二 銃、銃機、銃匣、銃蓋、銃床、銃脚、銃架、銃座、銃輪、銃轆、銃

三 銃、銃機、銃匣、銃蓋、銃床、銃脚、銃架、銃座、銃輪、銃轆、銃

四 銃、銃機、銃匣、銃蓋、銃床、銃脚、銃架、銃座、銃輪、銃轆、銃

五 銃、銃機、銃匣、銃蓋、銃床、銃脚、銃架、銃座、銃輪、銃轆、銃

られる自動推進式及び誘導式投射物、投射物、ロケット、充

てんされ又は充てんされてい
 びに信管、又は充てんされて
 用以外用途に必要とする信
 充、爆雷及び焼夷資材又は
 機雷、爆雷及び焼夷資材又は
 動する一切の手段、軍用以外
 七 銃、弾、雷、炸薬、手榴弾、爆雷、魚雷、

正 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

<p>な の の 又 い 種 用 は 兵 類 の 途 と 器 の 軍 た 装 備 並 め 甲 並 び 再 彈 薬 軍 更 、 艦 以 外 航 空 機 並 び 他 の 一 切 の 装 備 、 資 材</p>	<p>一 第 四 性 種 質 有 目 有 ず る 人 員 用 戦 闘 装 備</p>	<p>二 三 二 機 算 用 計 算 機 、 電 算 機 等</p>	<p>一 第 三 裝 甲 種 目 板</p>	<p>二 一 第 二 種 目 車</p>	<p>一 第 二 種 目 戦 闘 用 装 甲 車 、 技 術 的 に 軍 用 以 外 の 用 途 に 轉 換 す る こと の</p>
<p>な の の 又 い 種 用 は 兵 類 の 途 と 器 の 軍 た 装 備 並 め 甲 並 び 再 彈 薬 軍 更 、 艦 以 外 航 空 機 並 び 他 の 一 切 の 装 備 、 資 材</p>	<p>一 第 四 性 種 質 有 目 有 ず る 人 員 用 戦 闘 装 備</p>	<p>二 三 二 機 算 用 計 算 機 、 電 算 機 等</p>	<p>一 第 三 裝 甲 種 目 板</p>	<p>二 一 第 二 種 目 車</p>	<p>一 第 二 種 目 戦 闘 用 装 甲 車 、 技 術 的 に 軍 用 以 外 の 用 途 に 轉 換 す る こと の</p>

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, mostly illegible due to fading and ghosting.)

機械及び装置
 二 ありゆる種類のの上陸用舟艇及び水陸両様の車又は装備、あ
 らゆる型式の襲撃用の短艇又は装置並びに乗員を有するもの
 である。百とを問わず、又誘導されるもの、又は推進式兵器
 ないものである。問わず、航空機、ロケット、又は投下す
 る又は他の何らかの投射物、器具若しくは装置を放射し又は投下す
 るカタパルト又は他の器械
 三 引上作業、救助又は他の軍用以外の用途に必要とするもの
 を除き、港灣防禦のたむ特別に設計された水欄を含むもの
 ゆる種類の潜水性若しくは半潜水性の艦船、舟艇、兵器、装
 置又は器械及びこれらのもので建造、試験、維持又は格納用
 として特別に設計されるもの、一切の装備、又は設備
 備部品、実験用若しくは訓練用補助品、器具又は設備予

一 ありゆる種類のの上陸用舟艇及び水陸両様の車又は装備、あ
 らゆる型式の襲撃用の短艇又は装置並びに乗員を有するもの
 である。百とを問わず、又誘導されるもの、又は推進式兵器
 ないものである。問わず、航空機、ロケット、又は投下す
 る又は他の何らかの投射物、器具若しくは装置を放射し又は投下す
 るカタパルト又は他の器械
 三 引上作業、救助又は他の軍用以外の用途に必要とするもの
 を除き、港灣防禦のたむ特別に設計された水欄を含むもの
 ゆる種類の潜水性若しくは半潜水性の艦船、舟艇、兵器、装
 置又は器械及びこれらのもので建造、試験、維持又は格納用
 として特別に設計されるもの、一切の装備、又は設備
 備部品、実験用若しくは訓練用補助品、器具又は設備予

第五種目
 一 航空機より重いか、空気より軽い、組み立ててあるか、組み立ててないか、航空機で機銃、ロケット、投射器若しくは大砲の使用に上る航空機用として又は爆弾の運搬及び投下用として設計される又は改造されたもの、あるいは次の第二項に掲げられている装置のいずれかかを備えているか、又は設計若しくは構造上これを容易に取り付け得るもの
 二 航空機用の砲の砲架及び構材、爆弾架、魚雷運搬器並びに爆弾投下機、又は魚雷投下機、砲塔及びブリスター
 三 航空機用として特別に設計され、且つ専ら右部隊によつて使用される装備
 四 艦載、陸上又は水上航空機用カタパルト又は発射装置、飛行兵器発射器械
 五 阻害気球
 第六種目
 戦争の用に供するため又は軍用以外の必要を超えて製造された窒息性、致死性、有毒性又は戦闘能力破壊性の物質
 第七種目
 前記諸種目中の軍用資材の推進、爆発、装填若しくは充填の用に供し又は右資材と関連する用途に供するための推進物、

に

第八種目

爆発物、爆薬又は液体瓦斯で軍用以外に用いることができないか又は軍用以外の必要を超えて製造されたもの

右に列挙されている資材の生産及び維持を特に目的とする工場及び機械設備で技術的に軍用以外の用途に轉換することのできないもの

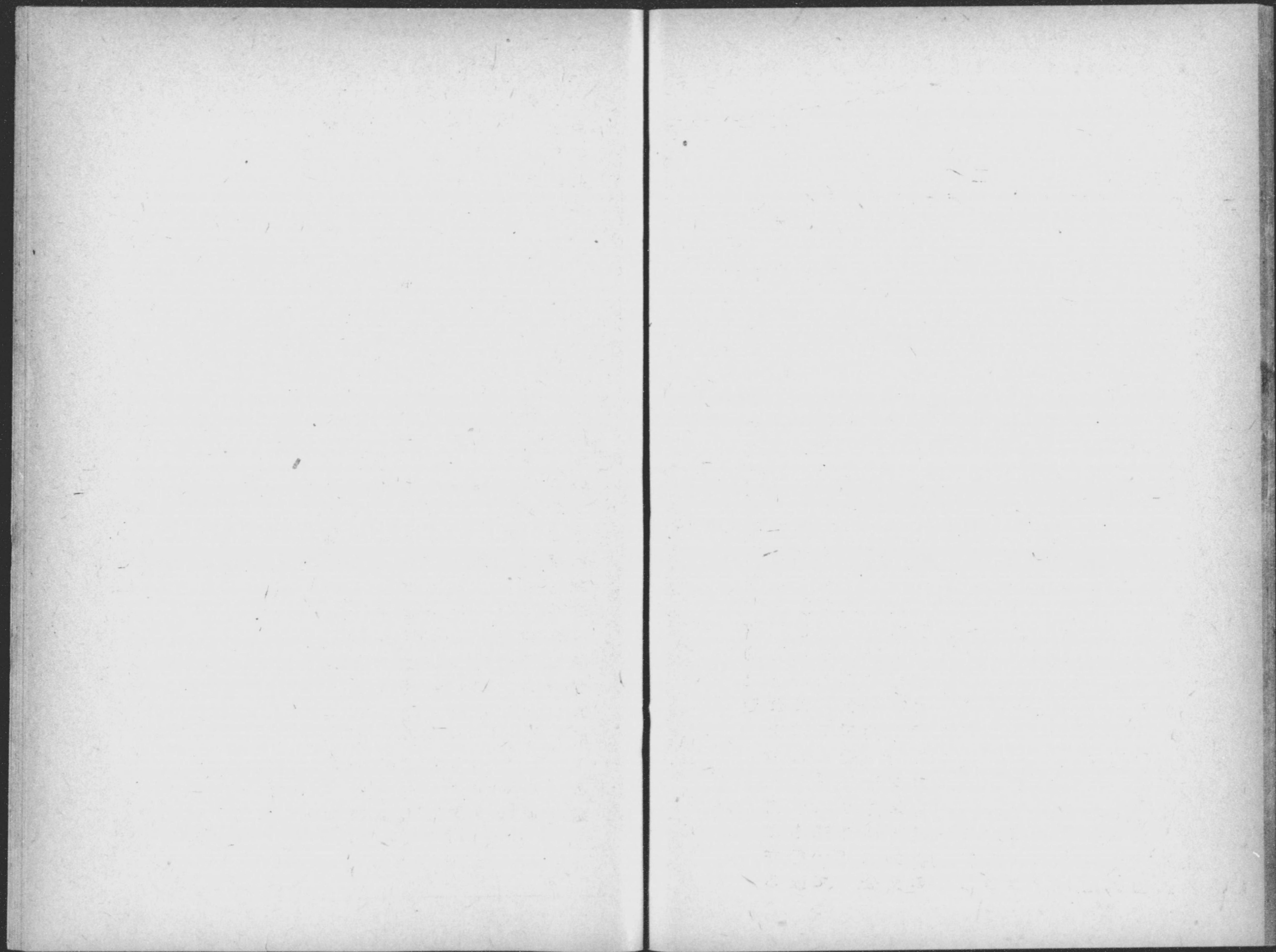
「非軍事化」及び「非軍事化される」という語の定義

参照

第十一條、第十四條、第四十九條及び第六附屬書第三條

この條約の適用上「非軍事化」及び「非軍事化される」といふ語は、一切の海軍用、陸軍用及び軍事航空用の施設、設備、及びこれらの武装、人工の陸軍、海軍及び空軍の障害物、陸軍、海軍及び軍事航空の基地、施設又は他の永久若しくは臨時の建ち及ぶもの、あらゆる形式の軍事動線並びに軍用資材の生産を当該領域及び領土に於いて禁止することを意味する。右は、領内の陸軍を有する任務に關するだけに人が制限されていて一人で持てる心五つ操作することのできる兵器を裝備するものではない。

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...



四

点の施設及び電線中、割譲地域の領水内に在る部分に關する限
 り、割譲地域の領水内に在る部分に關する限
 的、歴史的又は考古学的價値を有する一切の物件で、右地域が
 イタリヤ國の管理の下に在つた間に、その公衆施設によつて
 保れ且つ、イタリヤ國の管理の下に在つた間に、その公衆施設によつて
 有承されてゐるもの、右地域に引寄せ居る者又は引寄せ居る者
 を遂行するに必要の資金の出所が、右地域内に在るもの、右地域に引寄せ居る者
 貨を運ぶに必要の資金の出所が、右地域内に在るもの、右地域に引寄せ居る者
 換され、右地域内に在るもの、右地域に引寄せ居る者
 し、これを要求するに必要の資金の出所が、右地域内に在るもの、右地域に引寄せ居る者

五

点の施設及び電線中、割譲地域の領水内に在る部分に關する限
 り、割譲地域の領水内に在る部分に關する限
 的、歴史的又は考古学的價値を有する一切の物件で、右地域が
 イタリヤ國の管理の下に在つた間に、その公衆施設によつて
 保れ且つ、イタリヤ國の管理の下に在つた間に、その公衆施設によつて
 有承されてゐるもの、右地域に引寄せ居る者又は引寄せ居る者
 を遂行するに必要の資金の出所が、右地域内に在るもの、右地域に引寄せ居る者
 貨を運ぶに必要の資金の出所が、右地域内に在るもの、右地域に引寄せ居る者
 換され、右地域内に在るもの、右地域に引寄せ居る者
 し、これを要求するに必要の資金の出所が、右地域内に在るもの、右地域に引寄せ居る者

六 繼承國政府は、イタリヤ國の公債を支拂うことを免除される。但し、割讓地内に引き続き居住する公債所有者又は引き続きここにその本店又は主たる営業所をおく法人たる公債所持有人に對するイタリヤ國の債務は、この債務が右公債中、千九百四十年六月十日から前に発行されたもので前記地域に利益である公共事業及び民政業務のために行されたものであつて直接にも間接にも軍事的目的のために行されたものでない部分に該当する限りこれを負擔する。右の所有公債の出所に関する十分の証拠は、所有者に対して、これを要求することができる。イタリヤ國の公債中、この項に掲げられてゐる部分及び前記の規定も実施するための方法を決定する。割讓地の住民に對するイタリヤ國の公設又は私設の社會保險機關の債務及びこれら機關の蓄積した積立金の適當な部分が、繼承國の同様の機關に移轉される場合に特別取扱が締結されるためにならぬ。

六 繼承國政府は、イタリヤ國の公債を支拂うことを免除される。但し、割讓地内に引き続き居住する公債所有者又は引き続きここにその本店又は主たる営業所をおく法人たる公債所持有人に對するイタリヤ國の債務は、この債務が右公債中、千九百四十年六月十日から前に発行されたもので前記地域に利益である公共事業及び民政業務のために行されたものでない部分に該当する限りこれを負擔する。右の所有公債の出所に関する十分の証拠は、所有者に対して、これを要求することができる。イタリヤ國の公債中、この項に掲げられてゐる部分及び前記の規定も実施するための方法を決定する。割讓地の住民に對するイタリヤ國の公設又は私設の社會保險機關の債務及びこれら機關の蓄積した積立金の適當な部分が、繼承國の同様の機關に移轉される場合に特別取扱が締結されるためにならぬ。

七 繼承國の同様の機關に移轉される場合に特別取扱が締結されるためにならぬ。イタリヤ國內に居住してゐる保險証券所持人又は保險契約者に對し、割讓地内に本店を有する公設及び私設の社會保險機關の債務を規定するたため繼承國とイタリヤ國との間に同様の取

八

九

承この條約実施の時からイタリア國は、この條約に基いて、
 政官廳に於ける勤務に對して、受けていた文官又は軍人の恩給
 を、まだ支拂期日の來ていな恩給受領権も含んで支拂うこと
 を、ついで引き続き責任を負う、この責任を遂行する方法を規定
 する取極が、繼承國とイタリア國との間に締結されるなければな
 らない。

アこの條約の實施の日において、割讓地域内に永住するイタリ
 國の財産、權利及び利益は、適法に取得されたものである
 限り、繼承國の國民の權利と平等の基礎において尊重される
 ればならない。

内、他のイタリヤ國民及び法人の財産、權利及び利益は、
 一般に在るものとは、これらに對して、
 一の適用を受ける。右の財産、權利及び利益は、
 十の條の規定に基く留置又は清算に付されることなく、
 十九の條の規定に基く留置又は清算に付されることなく、
 四十三の條の九月三日からこの條約の實施に至るまでの間に
 たこの種類のものかある措置をも、又、移轉、強制管理若しくは
 差押に課せられなければならない。措置をも、又、移轉、強制管理若しくは
 返さるべきものではない。

同種のもの
 正定は且つ
 車輦及
 平及び
 割道資材
 並に及
 港灣用具
 及び
 同種のもの
 正定は且つ
 車輦及
 平及び
 割道資材
 並に及
 港灣用具
 及び

同種のもの
 正定は且つ
 車輦及
 平及び
 割道資材
 並に及
 港灣用具
 及び

第十五附属書

(イ) 工業所有権並びに文学的及び美術的著作権

一定の種類の財産に関する特別規定及び美術的著作権の國民をして戦争

(ロ) 一の年の間の與えられ、その工業所有権又は文学的若しくは

願先内に、又は生くと、のい、と、國、楯、狀、同、業、所、有、權、並、び、に、文、学、的、及、び、美、術、的、著、作、權

條約の期間内、國民は、この條約の實施から

美術的著作権に關する權利を不法に侵害したと主張される自然人又は法人に對してイタリア國において訴訟を起すことができない。

（以下は非常に薄い文字で印刷された、ほとんど不可読な文章が複数行にわたって続いている。これはおそらく法律条約の日本語訳の一部であると思われる。）

五 同盟及び連合國のいづれかの國又はイタリヤ國の領域に在る國民に與えることをこれらの規定によつて要求されることは

る第三者でこの條約の實施前にこの附屬書のいづれかの國又はイタリヤ國の領域に在る國民に與えることをこれらの規定によつて要求されることは、
もつて取得された權利若しくは矛盾する工業所有權又は文學的若しくは
くは美術的著作權を善意で取得し、複製し、使用し、若しくは販賣し
を善意で製造し、公表し、複製し、使用し、若しくは販賣し
たも善意で開始された取得したかか製造、公表、複製、使用し、
又は善意で開始された取得したかか製造、公表、複製、使用し、
賣を継続し又は再開された取得したかか製造、公表、複製、使用し、
任をも問われず、再開された取得したかか製造、公表、複製、使用し、
可は、關係当事者が相互に同意するか、又は同意がないときは
は、この條約第八十三條に基いて設置される同委員會が
定める。但し、及び同條及第三者との間に非獨占的免許の形式を
執る。第三者は、善意の矛盾するもの、對して同様の場合同盟及び連合
國の國民の權利を受け、矛盾するもの、對して同様の場合同盟及び連合

三
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

三 條 項 に 従 っ て 適 法 に 行 け れ
 た 取 引 を 右 取 引 が 同 盟 及 び 連 合 國 の 一 國 の 政 府 の 許 可 を 得
 て 行 わ れ た と き は 無 効 に す る も の と み な さ れ な い 。
 四 係 同 盟 又 は 連 合 國 の 政 府 と イ タ リ ア 國 政 府 と の 間 の 各 別 の 協
 定 に 従 う 。

三 條 項 に 従 っ て 適 法 に 行 け れ
 た 取 引 を 右 取 引 が 同 盟 及 び 連 合 國 の 一 國 の 政 府 の 許 可 を 得
 て 行 わ れ た と き は 無 効 に す る も の と み な さ れ な い 。
 四 係 同 盟 又 は 連 合 國 の 政 府 と イ タ リ ア 國 政 府 と の 間 の 各 別 の 協
 定 に 従 う 。

る

一

時効の期間に於ては、財産に影響する關係で戦争状態の故に自己の権利を保障するたためたに訴訟行為をなし、又は必要な手續あるものに於ては、一切の制限期間又は訴訟期間をなすし、若しくは、保存措置を執る權利の制限期間又は後を執行し、開始の問はず、一方の發生の前後は、相互的國の領域に於いては、戰争的基礎の上においては、戰争の繼續停止されたり、或は條約の實施から再び進行し、或は條約の履行が開始される。この項の規定は、利札又は若しくは、他の何等かの行為をなすこと又は期間に關し、適用される。ける戦中何等の行為をなすこと又は期間に關し、適用される。とを怠つたため、執行處分が、或は權利を回復し、或は損害を賠償する。おれ、連合國の一國の國民に損害を被つた権利を回復し、或は損害を賠償する。イタリ、或は連合國の國民に損害を被つた権利を回復し、或は損害を賠償する。ない。右回復が、或は連合國の國民に損害を被つた権利を回復し、或は損害を賠償する。タリ、或は連合國の國民に損害を被つた権利を回復し、或は損害を賠償する。置を講じ、或は連合國の國民に損害を被つた権利を回復し、或は損害を賠償する。

二

時効の期間に於ては、財産に影響する關係で戦争状態の故に自己の権利を保障するたためたに訴訟行為をなし、又は必要な手續あるものに於ては、一切の制限期間又は訴訟期間をなすし、若しくは、保存措置を執る權利の制限期間又は後を執行し、開始の問はず、一方の發生の前後は、相互的國の領域に於いては、戰争的基礎の上においては、戰争の繼續停止されたり、或は條約の實施から再び進行し、或は條約の履行が開始される。この項の規定は、利札又は若しくは、他の何等かの行為をなすこと又は期間に關し、適用される。ける戦中何等の行為をなすこと又は期間に關し、適用される。とを怠つたため、執行處分が、或は權利を回復し、或は損害を賠償する。おれ、連合國の一國の國民に損害を被つた権利を回復し、或は損害を賠償する。イタリ、或は連合國の國民に損害を被つた権利を回復し、或は損害を賠償する。ない。右回復が、或は連合國の國民に損害を被つた権利を回復し、或は損害を賠償する。タリ、或は連合國の國民に損害を被つた権利を回復し、或は損害を賠償する。置を講じ、或は連合國の國民に損害を被つた権利を回復し、或は損害を賠償する。

流通証券は、所費の
 敵人間において、戦前に作成された流通証券は、
 期間内に引受若しくは支拂のため証券の呈示、振出人若し
 くは裏書人えの引受若しくは支拂拒絶の通告又は拒絶証
 書の作成をしなかつたといふ理由によつて、あるいは戦
 争中に何らかの手續を完成しなかつたといふ理由によつて無
 効とみなされない。
 二 流通証券が引受若しくは支拂のため呈示されるか、引受拒
 絶若しくは支拂拒絶の通告が振出人若しくは裏書人に與えられ
 るか、又は証券に對し、拒絶証券が作成されなければならぬ期
 間が戰爭中に経過し、且つ証券を呈示し、若しくは拒絶証券を
 作成し、拒絶証券を呈示し、若しくは拒絶証券を呈示し、若し
 引受拒絶若しくは支拂拒絶の通告を行わなかつた場合には、
 當事者が、戰爭中にそれを拒絶し、期間を與へた場合には、
 當事者が、戰爭中にそれを拒絶し、期間を與へた場合には、
 の実施から三箇月を超えないうち、期間を與へた場合には、
 われ、作成が行はれること、戦争中に、後日敵人となつた者
 書の作成が行はれること、戦争中に、後日敵人となつた者
 何人でも戦争の結果として戦争の発生に基く債務を負うに
 についたときは、東の戦果として戦争の発生に基く債務を負
 いたときは、東の戦果として戦争の発生に基く債務を負うに
 前者に對して補償する責任を引き続き負わなければならぬ。

二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

に

一 特別規定
 のこの附書の適用上、自然人又は法人は、これらの者の間
 の取引が、これら者の又は当該契約が従つていた法律、命令
 又は規則に基いて不法のものであるとなつた日から、敵人とみなされ
 る。

二
 は、アメリカ合衆國とイタリア國との間には適用されない。

此の條は、特別規定の適用上、自然人又は法人は、これらの者の間
 の取引が、これら者の又は当該契約が従つていた法律、命令
 又は規則に基いて不法のものであるとなつた日から、敵人とみなされ
 る。

二
 は、アメリカ合衆國とイタリア國との間には適用されない。

い

第十七附屬書
捕獲審檢所及び判決

ろ

に於ける手続に從つて審査し、且つこれの決定及び命令を自國が
設ける手續に從つて審査し、且つこれの決定及び命令を自國が
際法に合致しないもの修正を留保する。ばならないことを
イタリヤ國政府に通告する権利を留保する。ばならないことを
て前記事件の記録を含む一切の文書の謄本を提し、並びに右
事件の審査の結果としてなされる一切の決定及び命令を
の勸告を實施することとする。

民が原告又は被告として充分な申述の條約の實施のため、この
おいて、千九百四十年六月十日とこの條約の實施のため、この
りて國の裁判所に一年以上以内の何時に於いて必要なる裁量
條約の實施から一年以内の何時に於いて必要なる裁量
ばならぬ提出することを得しめる。連合國民が判決の執行を
に損害を受けたる場合は、又は当該事情の下に判決が與へられ
つた地位を回復し、又は当該事情の下に判決が與へられ

（Faint, illegible text on the right page, likely bleed-through from the reverse side of the document.)

含れじで
 むかのなあ
 のけると
 法れぼ思
 令になわ
 に基られ
 いなるよ
 てい。う
 組「な
 織「連救
 さ合濟
 れ、國を
 又「民興
 は「え
 設「とら
 立「いう
 さ「うよ
 れ「語は
 た「必要
 会「連な
 社「合措
 又「國置
 は「のを
 組「い
 合「ず
 を「講

(The text on the right page is extremely faint and illegible, appearing as a dense grid of characters.)

1724

Faint, illegible text, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

